

第13回実験動物科学シンポジウム

ーDX活用による実験動物科学の新展開ー

日時：2025年9月26日(金)13:00-16:50

場所：京都大学北部総合教育研究棟 益川ホール

参加費：無料(事前申込優先)

参加申込フォーム



会場へのアクセス

主催：日本実験動物学会、関西実験動物研究会

後援：日本実験動物技術者協会関西支部

＜開会挨拶＞ 13:00～13:10 日本実験動物学会 理事長 小倉 淳郎(理研 BRC)
関西実験動物研究会 会長 横井 伯英(京都大学)

＜第1部＞ 座長：近藤 玄(京都大学)、葛谷 和也(科研製薬株式会社)

1) 13:10～13:50 中馬 新一郎(京都大学医生物学研究所)

「実験動物モデルを用いたゲノム変異研究とデータ解析基盤の構築」

2) 13:50～14:30 久野 朗広(筑波大学生命科学動物資源センター)

「仮説生成から遺伝型解析までをつなぐ、DXが駆動する次世代実験動物学」

(14:30～14:45 休憩)

＜第2部＞ 座長：浅野 雅秀(京都大学)、田中 美有(大阪公立大学)

3) 14:45～15:25 榎屋 啓志(理化学研究所バイオリソース研究センター)

「マウス日常行動の機械学習モデル開発計画～理研AGISプロジェクトの一部として～」

4) 15:25～16:05 川辺 敏晃(アーク・リソース株式会社)

「実験動物分野における各種センサを利用したDX化の試み」

5) 16:05～16:45 伊川 正人(大阪大学微生物病研究所)

「バイオDXによる精子形成・受精研究の新展開」

＜閉会挨拶＞16:45～16:50 日本実験動物学会 学術集会委員会委員長 真下 知士(東京大学)

＜意見交換会(事前予約制)＞ 17:30～19:30 京都大学北部生協会館2階